

# 赤穂市総合戦略推進事業

平成27年度～令和元年度

<令和元年8月>

# 基本目標 1

## 赤穂市における 安定した雇用を創出する

### ～ 講ずべき施策に関する基本的方向 ～

#### ◎ 基本的方向1 雇用対策

地域の実情に応じた多様な雇用を創出するとともに、若者、女性、障がいのある人などすべての就労を希望する方への就労の支援に取り組みます。

#### ◎ 基本的方向2 地域産業の競争力強化(業種横断的取組)

実需者と生産者のマッチングするため、商工連携に意欲ある農業者・漁業者の生産物をデータベース化し、加工等を行う商工業者への情報提供を行い、農商工連携の推進に取り組みます。

#### ◎ 基本的方向3 地域産業の競争力強化(分野別取組)

塩の商品開発や農林水産物のブランド化を通じて地域産業の競争強化に取り組みます。また、市内の空き店舗等を利用した新規参入を促進するため、「赤穂市中小企業経営安定資金融資制度」の見直しを行い、地域商業の対策に取り組みます。

## 基本的方向1 雇用対策

### 地域の雇用対策

#### ○ 郷土食や特産品への取り組み

地域で活動してきた女性の経験と能力を活かして、地元産の食材を使用した新たな特産品や郷土食の提供など「食」に関する女性の雇用を促進。

直売所等の設置に係る経費補助と併せて実施。（事業化調整中）＜産業観光課＞

#### ○ 農林水産物直売所設置支援事業

【R1：955千円】

農林水産物の直売所等設置に係る経費を助成。女性の雇用拡大支援と併せて実施する。

＜産業観光課＞

#### ○ 男女共同参画社会づくり推進事業

就業相談や職業訓練、各種セミナー開催に関する情報提供。兵庫県が実施する「出張・女性のための働き方セミナー」を活用し再就職や起業を旨とする女性が講師から助言を得たり、参加者同士が情報交換できる場を提供。

＜市民対話課＞

#### ○ 雇用促進セミナー等事業

退職した女性等へ先駆的取組を実施している企業の情報を発信。また先駆的取組を市内の企業へも発信し、ワーク・ライフ・バランスへの取組意欲を喚起。

また、女性の起業支援のため、起業支援貸付等の周知、情報提供を行うとともに、ワンストップ窓口により個別相談に応じる。

＜産業観光課＞

#### ○ 雇用促進奨励費

妊娠・出産等により離職された方を再雇用した事業主に奨励金を助成。（事業化検討中）

＜子育て健康課＞

#### ○ 農地現状調査事業

（企業参入候補地検討）

農地の現状を調査して収集した耕作放棄地・遊休農地の情報を基に、企業参入のための候補地選定を実施。＜産業観光課＞

#### ○ 子育て支援情報システム事業

【R1：772千円】

子育て支援アプリにより、子育て支援施策や相談窓口、イベント等の情報を提供することにより、仕事と子育ての両立のためのサポートを行う。＜子育て健康課＞



子育て応援ナビ

### 農業・漁業の担い手確保と育成

#### ○ 人・農地問題対策支援事業

【R1：5,570千円】

地域連携推進員により、新たに起業する農業者へ、「農地」・地元の「ひと（農家）」とのマッチング支援を行い、また使用しなくなった「農機具」を提供（斡旋）して、就農しやすい環境を促進。＜産業観光課＞

#### ○ 環境保全型農業支援事業

農薬・化学肥料の低減への取り組みを行うエコファーマーへの助成を行う。

（事業化検討中）＜産業観光課＞

### ○ 漁業振興安定対策事業

【R1：5,150千円】

漁船損害保険・漁業共済掛け金助成、アサリ種苗放流に対する助成等を実施。

<産業観光課>

### ○ 農地現状調査事業

（新規就農希望者への情報提供）

就農可能な農地や、農地の基礎的情報（水利・基盤整備の有無、交通の便、土壌の状況、獣害の有無等）をデータベース化し、新規就農希望者への情報提供を行う。農地等とのマッチングと連携して実施。<産業観光課>

## 障がいのある人の就労活動を通じた自立の促進

### ○ 障がい者就労施設等支援事業 【R1：310千円】

市役所内各課において、可能な範囲で、障害者就労施設の取り扱い物品や軽作業の発注に努める。また各種イベント時の障害者就労施設ブースや、市役所ロビーでの販売支援を行う。

<社会福祉課>

## 基本的方向2 地域産業の競争力強化（業種横断的取組）

### 農商工連携の推進

#### ○ 地産地消推進事業（実需者、生産者のマッチング）

市農業者・漁業者の生産物をデータベース化したうえで、生産者と実需者両者のマッチング支援を行う。<産業観光課>

## 基本的方向3 地域産業の競争力強化（分野別取組）

### 地域産業の競争力強化

#### ○ しお開発推進事業

「塩の国」の流下式枝条架で作られた新しい「塩」と和歌山県田辺市の「梅」による梅干しの開発、また田辺市の梅酢（梅干開発時に発生）による梅塩を開発。<産業観光課>

#### ○ しおブランド化推進事業

【R1：3,480千円】

単体では知名度向上、販路開拓が厳しい塩に新たな付加価値を加える取り組みを実施。

「塩・枅・酒」をコンセプトに、塩を盛る工夫や呑む際に清酒をこぼれにくくする工夫をして開発した枅を活用し塩のプロモーションを行う。<産業観光課>

#### ○ しお活用推進事業

#### ○ 赤穂ブランド推進事業

「塩の国」で生産された「枝条架塩」や新たに開発した塩を活用し、民間事業者の指導のもと、地元農産物を使用した「新しいつけもの」を生産。障がい者施設へ生産指導等の支援を行い、その生産に対する助成を実施。<産業観光課>



このつけものは、平成29年度の「第1回グルメ甲子園」（障がい者が作る農産加工品の品質向上や販路拡大を図るため、兵庫県が開催。）でグランプリに輝きました。

### ○ 観光アクションプログラム策定事業

観光アクションプログラムに塩の活用を盛り込み、当プログラム策定にかかるワークショップ参加者等を「赤穂塩」の拡散要員へと繋げる。〈産業観光課〉

### ○ 赤穂ブランド推進事業

【R1：450千円】

赤穂の名産を利用した加工品の創作支援を実施。また、赤穂ブランド認証制度構築にあたり、視察等による調査・研究を行う。〈産業観光課〉

### ○ 地場産業育成事業の拡充 (赤穂緞通)

赤穂緞通を地場産業として確立させるため既存の工房の維持管理や観光客対応支援等に加え、講演会の開催や新たな展示の機会を設けるなど、情報発信、伝承者の確保・育成及びブランド化について支援。

〈産業観光課〉



赤穂緞通の展示会

### ○ 海洋科学館整備事業 (リニューアル整備)

「塩の国」の枝条架を活用した新たな商品開発に資するための塩とかん水を増産させるとともに、塩づくり体験等訪問客の誘引を図るため、施設の拡張及びリニューアルを行う。〈生涯学習課〉

## 地域商業の対策

### ○ 中小企業経営安定資金融資

既存の融資信用保証料助成等のみならず、赤穂市における「創業支援計画」を策定することで支援対象枠を拡大させ、これまで対象にならなかった新規参入者を支援。

〈産業観光課〉

### ○ 産業活性化支援事業

既存店舗のリフォーム助成を行う。

(事業化検討中) 〈産業観光課〉

# 基本目標2

## 赤穂市への 新しいひとの流れをつくる

### ～ 講ずべき施策に関する基本的方向 ～

#### ◎ 基本的方向1 地方移住の推進と情報発信の強化

移住のための情報の一元化や赤穂市への移住者のための支援体制の整備を図り、ワンストップで様々な移住相談に対応します。また、移住・定住者には、住宅費用や通学費用の助成を通じて負担を軽減します。

そして、移住を推進するため、体験型観光の育成やふるさと納税特典品の拡充を通じて、本市の魅力発信に取り組みます。

#### ◎ 基本的方向2 地方拠点強化

本市への企業誘致や本社機能の移転に対する積極的な働きかけ、拠点強化に取り組みます。

#### ◎ 基本的方向3 地域資源を活用した交流の促進

農水産物オーナー制や観光の振興など、地域資源を活用した交流の促進に取り組みます。観光では、「あこう元禄“しお”回廊プロジェクト」「旧赤穂上水道完成400年記念プロジェクト」などのプロジェクトや中心市街地の歩行者天国によりにぎわいの創出をめざします。

## 基本的方向1 地方移住の推進と情報発信の強化

### 地方移住の推進

#### ○ 定住支援推進事業 (お試し暮らし住宅)

【運営R1：1,034千円】

お試し暮らし住宅を設置して移住希望者に一定期間貸し出し、赤穂市の居住環境に理解を深めてもらうことで、市外からの移住を促進。また、利用者の安全性、利便性を高めるため、アンケート結果に基づいたリニューアルを実施。

(定住支援金)

【R1：48,208千円】

移住、定住希望者が赤穂市を選択されるよう、転入者への定住支援金交付、新婚世帯への家賃助成及び若者（45歳未満）世帯の住宅取得に対する支援金交付を実施。

(移住体験バスツアー)

【R1：371千円】

赤穂市への移住に興味のある人を対象に、市内の公共施設・商業施設・保留地等を巡るバスツアーにより、赤穂市に移住した際のイメージを具体的に持ってもらおう。

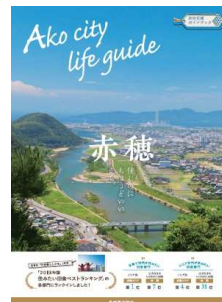


お試し暮らし住宅

(定住相談会等)

【R1：417千円】

パンフレット等を作成してPRを行うとともに、定住相談会へ出展し、赤穂市への移住、定住を促進。



<以上、市民対話課>

#### ○ 定住自立圏構想推進経費 (定住相談員)

赤穂市、さらには赤穂市を含む東備西播定住自立圏域への移住を希望する人に、きめ細やかな定住相談を実施するとともに、移住、定住を促す相談や、各種支援策の推進を図るため、定住相談員を配置。<市民対話課>

#### ○ 新規学卒者雇用奨励金交付事業

卒業してから3年を超えない新規学卒者を正規雇用した市内の事業主に対して、奨励金を交付する。<産業観光課>

#### ○ 金融機関による支援策の推進

赤穂市への移住者への住宅ローン優遇や移住者への住宅リフォーム融資の優遇について金融機関と調整。<企画広報課>

#### ○ 空き家・市住活性化推進事業

関西福祉大学と赤穂市が連携し、空き家もしくは市営住宅に住みつつ地域貢献活動を行う学生に対し、住宅費用等の一部を助成。(事業化調整中)<市民課、企画広報課>

## 赤穂の魅力発信

### ○ 定住自立圏構想推進経費 （体験型観光バスツアー）

東備西播定住自立圏形成推進協議会の事業において実施する、備前・赤穂・上郡を巡る体験型観光バスツアーにより、赤穂市の魅力を発信。＜産業観光課＞

### ○ 窓口発ふるさと赤穂PR事業 【R1：254千円】

赤穂市に転入された方のうち、希望があった方に「陣たくん」をデザインした「転居のお知らせ」ハガキをお渡し。

また婚姻届提出時に「陣たくん」パペット人形と一緒に二人での記念撮影、出生届の際、赤穂市に住民登録される赤ちゃんに、「陣たくん」マスコット人形とマグネットシート（自動車用）をプレゼント。

＜市民課＞



### ○ ふるさとづくり寄付金推進事業 【R1：12,881千円】

赤穂市に寄付を行った方に対して、市内の特産品等を贈呈。観光産業全般に協力を依頼し、本市の多様化した魅力を発信。

ガバメントクラウドファンディングも実施。  
＜行政課＞



### ○ 市政ニュース発行経費 【R1：3,281千円】

ビデオ撮影、編集機材を導入し、作成した動画をFacebook/YouTubeの公式ページを活用して発信。またInstagram等新たなソーシャルメディアを活用して情報発信。

またDTPの導入により、市の職員自らが広報紙の編集、デザインを手がけ、周知力のアップを図る。＜企画広報課＞

### ○ クラウドファンディング応援事業

クラウドファンディング活用の地域活性化プロジェクトをPRも含めて支援することで、地域の魅力を幅広く発信。＜企画広報課＞

## 基本的方向2 地方拠点強化

### 企業の地方拠点強化

#### ○ 企業誘致促進事業 【R1：960千円】

赤穂磯産業団地（1区画）への誘致を促進する。工場用地情報バンク登録用地等、民間未利用地の活用を行う。＜産業観光課＞

#### ○ 工場立地促進奨励金交付事業

オフィス等の建物への入居に係る賃借料に対し補助を行い、赤穂市へ企業等が進出する際の初期コストを軽減する。また兵庫県策定の地域再生計画区域に編入され、本市へ本社機能を移転した企業は、税の優遇措置を受けることが可能となった。＜産業観光課＞



## 基本的方向3 地域資源を活用した交流の促進

### 農水産物オーナー制

#### ○ 地産地消推進事業

農産物、水産物のオーナー制を推進するため、オーナー制参画生産者に対する協力金を給付。  
(事業化検討中) <産業観光課>

### 観光振興の推進

#### ○ 観光協会事業補助 (PRパンフ作成等)

【R1: 1,200千円】

観光パンフレットにお土産などの割引特典を掲載するクーポン付パンフレットを作成。また、新たな観光ポスターを作成する。  
<産業観光課>



観光アプリ「赤穂まちあるき」でもクーポン配信

#### ○ 定住自立圏構想推進経費 (観光振興推進事業)

東備西播定住自立圏形成推進協議会の事業において備前・赤穂・上郡のクーポン付グルメ本を作成。<産業観光課>



#### ○ 観光客おもてなし事業 (観光振興推進事業)

塩づくり体験施設などの既存体験施設の活用を促進するとともに、新たな施設を創出。  
(事業化検討中) <産業観光課>

#### ○ 赤穂ブランド推進事業

赤穂の名産を利用した加工品創作支援のための補助金を交付。(事業化検討中)  
<産業観光課>

#### ○ 観光イベント等補助

四季を通じた季刊観光情報誌を発行し、旬な観光イベント情報やタイムリーな情報を発信。<産業観光課>

#### ○ 赤穂城跡公園整備事業

【R1: 3,500千円】 <都市整備課>

#### ○ 赤穂城跡整備事業

【R1: 1,000千円】 <文化財担当>

#### ○ 歴史博物館整備事業

【R1: 4,000千円】 <生涯学習課>

#### ○ 福祉のまちづくり推進事業

(赤穂城跡公園園路、歴史博物館整備)

【R1: 7,300千円】 <社会福祉課>

赤穂事件の大河ドラマ誘致の取り組みと歩調を合わせた赤穂城跡、歴史博物館の整備を実施。また、高齢者や障がい者を含む全ての人が、安全快適に利用できるよう赤穂城跡公園の園路整備、歴史博物館のトイレ改修等を行う。

#### ○ 観光客おもてなし事業 (アプリ)

【R1: 327千円】

スマートフォン対応の観光アプリを制作。観光施設や宿泊施設、観光おすすめコースの情報受信、プロモーション映像の視聴が可能なものとし、また多言語機能を取り入れ、外国人観光客への案内にも対応する。  
<産業観光課>



観光アプリ  
「赤穂まちあるき」



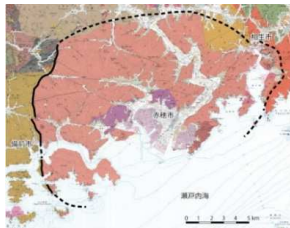
○ 文化財公開活用事業  
【R1：1,425千円】

○ 文化財施設整備事業  
【R1：25,900千円】

有年地区は古代遺跡の宝庫として兵庫県指定文化財7件や有年考古館などがあり、地域の大きな特徴となっている。これらの歴史文化遺産を連携させ、一体的な活用を図ることによって、地域の魅力アップを図り、交流人口の拡大を目指す。〈文化財担当〉

○ 地域資源PR事業  
(赤穂コールドロンの発信)

平成28年8月に、その存在が公表された「赤穂コールドロン」について、講演会開催や動画作成により、新しい地域資源として内外に発信。〈企画広報課〉



図中の実線がコールドロン縁で、破線は推定

「播州赤穂」地域の地質図幅の一部(一部修正、加筆)

○ あこう元禄“しお”回廊整備  
【R1：40,000千円】

赤穂海浜公園と御崎地区を結ぶ新たな観光ルートを設定し、道路の美装化や誘導案内サインの整備による観光客の回遊導線を確認するための基本構想を策定。〈都市整備課〉

基本構想の成果に基づき、回遊路、歩道等の整備を実施。〈建設課〉

○ 土地利用計画変更事業

あこう元禄“しお”回廊付近の地域資源の活用に資する建築物の立地誘導を図るため、行う。〈都市整備課〉

○ 観光動画作成

観光プロモーションムービーを作成し、外国人旅行者（インバウンド）への対応を図る。〈産業観光課〉



赤穂市観光プロモーションムービー「Feel Ako Time」

この動画は平成29年度の第65回兵庫県広報コンクールの映像部門で「特選」となりました。

○ 観光協会事業補助  
(インバウンド対応)

【R1：300千円】

赤穂観光協会発信の多言語対応ホームページ開設、Wi-Fi 2箇所（赤穂観光協会、赤穂情報物産館）設置、また海外向けファムツアーを実施。〈産業観光課〉

○ 国際交流推進事業

【R1：2,100千円】

数年ぶりの姉妹都市ロッキングハム市からの人的交流に合わせて、インバウンド対策を含む、赤穂市への来訪者支援、児童合唱団の渡航支援を実施。〈市民対話課〉

○ 観光客おもてなし事業

(文化・スポーツ合宿等宿泊助成)

【R1：1,000千円】

赤穂市や近隣市町の文化・スポーツ施設を利用して練習する目的で、市内の宿泊施設に2泊以上宿泊する利用者に対し助成を行う。〈産業観光課〉

### ○ 観光施設整備事業

【R1：2,500千円】

あこう元禄“しお回廊”の起終点である御崎の海岸における過去の火山活動の痕跡位置にサインを整備し、新地域資源である「赤穂コールドロン」の発信に資する。

また、“しお回廊”沿いの桜の保護、育成のため、樹木医の助言による樹木整備を実施。  
＜産業観光課＞

### ○ 赤穂ふれあいの森整備事業

【R1：1,410千円】

ふれあいの森の遊歩道を整備するとともに、観光アプリにトレッキングマップ機能を追加。  
＜産業観光課＞

### ○ トレッキングマップ作成事業

【R1：180千円】

市内にある登山道を紹介するトレッキングマップの作成。＜スポーツ推進課＞

### ○ 田淵記念館整備

あこう元禄“しお回廊”沿線上に位置する田淵記念館のリニューアル整備を行い、御崎地区への観光客誘引を図る。＜生涯学習課＞



赤穂御崎のきらきら坂



兵庫県立海浜公園内の「塩の国」にある枝条架

### ○ 公園施設整備事業

（海浜スポーツセンターリニューアル整備）

【R1：1,500千円】

スポーツ施設の利用環境向上整備により、合宿団体等のさらなる誘引を図る。  
＜都市整備課＞

### ○ 中心市街地での歩行者天国

中心市街地において歩行者天国を実施することで、各種イベントやオープンカフェ等が自由に使えるエリアを創出。

現在、土曜夜店にて歩行者天国を実施。  
（拡充事業化検討中）＜産業観光課＞

### ○ 旧赤穂上水道完成400年記念プロジェクト



日本最古の水道トンネル「切山隧道」

- ・記念ノベルティ（クリアファイル）、広報チラシの作成。＜産業観光課＞
- ・ガイド付きのウォーキングイベントを実施。＜産業観光課、スポーツ推進課＞
- ・神田、福山、赤穂の学識経験者を招聘し、記念シンポジウムを開催。  
＜上下水道部総務課＞

## 基本目標 3

# 若い世代の結婚・出産・子育て の希望をかなえる

### ～ 講ずべき施策に関する基本的方向 ～

#### ◎ 基本的方向1 結婚・出産・子育ての支援

病後児保育、幼稚園3歳児保育、情報提供機能の強化、子育てに関わる経済的負担の軽減等を通じて、質・量ともに子育て支援制度・サービスを向上させるよう、子ども・子育て支援の充実に取り組みます。

そして、子育て世代が仕事と子育ての両立を実現できるよう、イクメン講座や女性の再雇用を通じて、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援に取り組みます。

また、若者の成婚の増加をめざして、赤穂市社会福祉協議会による「出会いの広場事業」、東備西播定住自立圏事業による「縁結び事業」、ひょうご出会いサポートセンターによる「ひょうご縁結びプロジェクト」等を活用して、結婚のきっかけづくりに取り組みます。

#### ◎ 基本的方向2 若い世代(女性)の仕事と生活の調和

働く希望のある女性が働けるよう、結婚・育児等により退職した女性の再就職や女性による起業支援に取り組みます。

### 子ども・子育て支援の充実



#### ○ 第3子いきいき子育て応援事業 【R1：6,940千円】

養育する3番目以降の児童について、出生時に5万円、小学校入学時に3万円、中学校入学時に3万円の商工会議所商品券を支給。  
<子育て健康課>



#### ○ 予防接種費助成事業 【R1：5,418千円】

子どものインフルエンザ予防接種費用を生後6か月から小学6年生までの子どもを対象に、一人につき1回1,000円を2回（合計2,000円）助成。<保健センター>

#### ○ こども食堂運営補助事業 【R1：450千円】

主に貧困を抱えた世帯やひとり親世帯等に属する子どもを対象に、食事の提供等を通じた居場所づくりを目的とした「こども食堂」を運営する団体に、運営費用の一部を助成。  
<子育て健康課>

#### ○ 乳幼児一時預かり事業 【R1：4,263千円】

赤穂すこやかセンターで、生後6か月から小学校就学前までの集団保育が可能な乳幼児の一時預かり事業を実施。利用料は、1時間につき500円。<子育て健康課>

#### ○ 中学生第3子手当支給事業 【R1：2,735千円】

高校生から数えて3番目以降の中学生について月額5千円（年間6万円）を支給。  
<子育て健康課>

#### ○ 第3子以降の幼稚園・保育料の一部無償化

母子世帯等又は在宅障がい児等のいる世帯の2番目以降の子どもの幼稚園・保育所保育料を無償化。また一般世帯において3番目以降の子どもの保育料を無償化。（いずれも所得制限あり）<こども育成課>

#### ○ 幼稚園・保育所保育料の10%軽減 保育料を、平成26年度までの幼稚園・保育所の保育料から10%軽減。<こども育成課>

#### ○ 高校生等医療費 【R1：2,409千円】

高校生世代の入院医療費の自己負担額についてを全額助成。<医療介護課>

#### ○ 要保護児童対策地域協議会推進事業 【R1：374千円】

子育て支援に関する情報・施策や児童虐待防止につながる情報を掲載した子育て応援の手引き「ぴよぴよ」を作成し、広く住民への周知を図る。<子育て健康課>

○ 3歳児保育調査研究事業

【R1：185千円】

○ 3歳児保育施設等整備事業

【R1：1,200千円】

平成30年度に、塩屋幼稚園で試行的に3歳児保育を開始。以降段階的に実施。

<こども育成課>

○ 病児・病後児保育事業

【R1：11,526千円】

保護者の子育てと就労等の両立を支援するため、病気や病気の回復期にある児童を家庭で保育できない場合に、一時的に保育する。

<子育て健康課>

○ 認定こども園の設置

就学前の子どもに、幼児教育と保育の両方を提供し、また地域の子育て家庭に対し支援を行う施設を整備。（事業化検討中）

<こども育成課>

○ 保育料軽減事業

（保育所・幼稚園給食費助成）

【R1：2,322千円】

第3子以降の子が認定こども園、保育所（赤穂市立幼稚園を除く）に在籍している満3歳以上の幼児の保護者を対象に給食費を補助。 <こども育成課>

○ 学校給食費補助金

【R1：20,630千円】

第3子以降の園児、児童及び生徒の保護者へ子育て支援を推進することを目的に、学校給食費を補助。 <給食センター>

○ 子育て支援情報システム事業再掲

子育て支援アプリの運用。

<子育て健康課>

**妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援**

○ 母子保健推進事業

（プレママ・プレパクラス）

【R1：210千円】

妊婦やそのパートナー等を対象に妊娠中の生活や育児について、学ぶ教室を開催。

<保健センター>



○ 環境基本計画推進事業

（赤穂こどもエコクラブ）

【R1：422千円】

市内の小学校4年生～6年生を対象に、自然体験や社会体験を通し、環境に配慮した活動を実践する能力と考え方を身につける場として、赤穂こどもエコクラブを開催。 <環境課>

○ 情報教育推進事業

【R1：101,766千円】

情報通信技術（ICT）を活用して視覚に訴えた授業による学力の向上、また児童の情報活用能力の育成のため、設置場所を限定しないタブレット端末等を整備。 <教育委員会総務課>

○ 特別支援教育推進事業

【R1：700千円】

個々の状況に応じた授業実施のためタブレット端末を整備するとともに、特別支援教育指導補助員を配置。〈指導課〉

○ グローバル化教育推進事業

【R1：619千円】

アートマイルを介した海外校との交流を通して、子どもの視野を広げるとともに海外交流の強化を図る。〈指導課〉

○ 特色ある学校づくり推進事業

【R1：2,445千円】

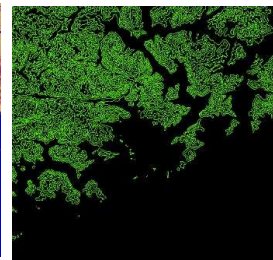
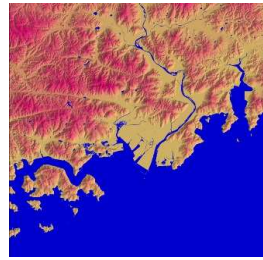
学校が、地域や子ども達の実情に応じて主体的に創意工夫のある教育活動を展開し、自主的・自律的な学校運営により特色ある学校づくりができるよう事業として展開を図る。〈指導課〉

○ 海洋科学館整備事業

（赤穂コールドロンの活用）

「赤穂コールドロン」の学術的成果や意義を学んでいただくため、科学館にプロジェクトマップ模型を設置するとともに、持ち運び可能な小型模型を作成。

〈生涯学習課〉



各種事業を活用した結婚のきっかけづくりの推進

○ 出会いの広場事業

【R1：160千円】

出会いの機会の少ない独身男女に出会いの場を提供する事業を実施する赤穂市社会福祉協議会に助成を行う。〈子育て健康課〉

○ 定住自立圏構想推進経費

（縁結び事業）

赤穂市、さらには赤穂市を含む東備西播定住自立圏域における縁結びのきっかけづくりのため、独身男女の出会いイベントを開催。〈市民対話課〉

2019年 6月29日(土)  
午前10時～午後4時

赤穂御崎の海で  
縁つむぎパーティー

参加者募集中

赤穂御崎の海を舞台に、おいしいお食事やお酒が盛り込まれた、縁結ぶためのパーティーの開催には、赤穂市および御崎地区の男女が参加し、縁結ぶ機会を創出します。

場所 桃井ミュージアム (赤穂市御崎 634 番地)

対象 男性：30歳以上の西播磨地区に在住する未婚の方  
女性：30歳以上の未婚の方  
※男女とも赤穂市市民・住居者を優先します(学牛様へ)

定員 男女各16名 (申込多数の場合は抽選)

参加費 2,000円

申し込み 要企画の申込書(AX)を添付し、申込用紙のすべての項目をメールで送付してください

問合せ 赤穂市社会福祉協議会 TEL:0791-42-1397 FAX:0791-45-2444 E-mail:oko-shokyo@nko-shokyo.jp

主催:赤穂市社会福祉協議会 共催:赤穂市 協賛:赤穂市議会、ひょうご出会いサポートセンター、桃井ミュージアム

2018. 3.18 (日) 13:00-16:30

上郡町3市町共催企画

ピザ作り体験 de ときめき・スプリングカップリングパーティー

結婚をうまげ縁結ぶイベントの開催  
ピザ作り体験 de ときめき・スプリングカップリングパーティー  
人数も、縁結ぶ機会を創出します

開催場所: 御崎町(3市町)  
兵庫県赤穂市上郡町八原甲 569-21  
参加条件: 25～45歳の独身の方  
※男性は赤穂市・御崎町・上郡町に在住、在勤の方、または結婚を機に3市町へ移住を考慮している方  
※女性は地域制限なし  
募集定員: 男女各20名(計40名程度)  
※応募者多数の場合は抽選となります。  
参加費: 男性:2,500円 女性:1,500円  
締切日: 2月21日(水)  
※抽選の結果は参加申込書に添付の封筒にてお知らせいたします。  
※お申し込みいただいた方の住所は公開いたしません。

【主催】 東備西播定住自立圏域推進協議会(赤穂市・御崎町・上郡町)  
【共催】 赤穂市・御崎町・上郡町  
【協賛】 赤穂市議会、ひょうご出会いサポートセンター、桃井ミュージアム  
TEL:082-484-0020(10:00～18:00/土日祝非対応)  
E-mail:info@nko-shokyo.jp

【お問い合わせ】 赤穂市社会福祉協議会 TEL:0791-42-1397 FAX:0791-45-2444 E-mail:oko-shokyo@nko-shokyo.jp

3月1日(土) 10:30～30:00  
場所:上郡町御崎(兵庫県赤穂市)  
3月2日(日) 10:30～30:00  
場所:赤穂市(兵庫県赤穂市)  
場所:御崎町(兵庫県赤穂市)

**女性の雇用確保と起業の支援**  
(既出の事業の再掲)

- 男女共同参画社会づくり推進事業  
＜市民対話課＞
- 子育て支援情報システム事業  
＜子育て健康課＞
- 雇用促進セミナー等事業  
＜産業観光課＞
- 雇用促進奨励費  
＜子育て健康課＞





## 基本目標4

# 時代に合った地域をつくり、 安心なくらしを守るために、 地域と地域を連携する

### ～ 講ずべき施策に関する基本的方向 ～

#### ◎ 基本的方向1 地域連携によるまちづくりの推進

集落・地区毎に点在する様々な資源を線で結んだウォーキングMAPの作成など、地域資源の連携活用に取り組むとともに、歴史文化遺産と自然環境を活用した駅周辺の開発、地域の特色を活かした特産物の生産等を通じてまちづくりに取り組みます。また、コミュニティバス、デマンドタクシーなどの交通手段を充実して地域連携がしやすい環境の整備に取り組みます。

#### ◎ 基本的方向2 地域連携による経済・生活圏域の形成

姫路市を中心とした播磨圏域連携中枢都市圏に参加し、連携事業を実施して、播磨圏域連携中枢都市圏の形成に取り組みます。また、東備西播定住自立圏形成推進事業を充実し、生活機能やネットワーク等の強化を図るため、東備西播定住自立圏の形成に取り組みます。

#### ◎ 基本的方向3 防災・減災対策の推進

安心なくらしを守るため、赤穂市地域防災計画に基づき、避難所等防災施設の充実強化、消防施設の充実強化に取り組みます。また、災害時における情報収集・伝達体制を充実するため、防災情報システムを整備します。

#### ◎ 基本的方向4 既存ストックのマネジメント強化

市内の空き家を解消するため、空き家情報バンク等の住宅情報の提供体制を充実するとともに、空き家への入居者に対する補助制度を創設し、空き家対策に取り組みます。

#### ◎ 基本的方向5 地域ブランド力の推進

忠臣蔵サミットや赤穂義士祭等を充実し、地域ブランド力の推進に取り組みます。

## 基本的方向1 地域連携によるまちづくりの推進

### 地域資源の連携活用

- 観光協会事業補助
- 坂越駅周辺地区都市再生整備事業
- 有年駅周辺地区都市再生整備事業  
(地域間、集落間を結んだウォーキングマップ作成)

地域資源の再発掘として、点在する旧赤穂上水道に関する資源等を線で結んだウォーキングマップを作成。

また、駅周辺整備にあわせ、有年地区、坂越地区の資源等を線で結んだマップを作成。  
<産業観光課、区画整理課>



- 地場産業育成事業の拡充(赤穂緞通)再掲 <産業観光課>

### 過疎化が進む地域における小さな拠点の形成

- 市内循環バス運行事業

【R1：16,000千円】

市内循環バス「ゆらのすけ」の運行により、市内のバス交通不便地域(路線バス空白地)の解消、高齢者・障がい者等の移動手段確保、外出意欲促進、交流人口増加等に資する。

<企画広報課>

- デマンドタクシー運行事業

【R1：2,500千円】

タクシー空白地である有年地区において、高齢者等の交通手段として、自宅から宮前停留所、有年診療所、有年公民館、JR有年駅までの間を、予約型乗合タクシーとして運行し、住民の利便性を高める。

<企画広報課>

### 生活拠点としてののにぎわいの創出

- 坂越駅周辺地区都市再生整備事業

- 坂越駅前レンタサイクル事業

【R1：1,780千円】

坂越駅から坂越湾への回遊性向上のための道路整備や、駐車場、レンタサイクル、観光案内板、公園等の整備を行い、坂越地区の賑わいを再生。<区画整理課>



坂越駅前駐車場、レンタサイクル

- 有年駅周辺地区都市再生整備事業

【R1：36,100千円】

- 有年駅前レンタサイクル事業

【R1：496千円】

- 有年駅周辺施設維持管理事業

【R1：4,201千円】

有年駅周辺地区の駐車場、駐輪場、レンタサイクル、観光案内板、駅前広場、総合案内所、道路等の整備を行い、駅周辺の賑わいを再生。<区画整理課>



有年駅北まちびらきまつり

## 産地化の推進

### ○ 地産地消推進事業

産地化推進の対象となる作物の作付に対する交付金を支給する。国施策の「経営所得安定対策」における「産地交付金」による作付誘導も合わせて実施。（事業化検討中）

<産業観光課>

## 都市部と農村地域の交流促進



赤穂市公式動画チャンネルで動画配信中

### ○ 農村地域活性化推進事業

【R1：810千円】

大津だいこんまつり、周世もみじまつり等、地域の特色を活かしたイベントの開催に助成を実施。<産業観光課>

## 高齢者を見守る支えるネットワークの形成

### ○ 高齢者を見守る支えるネットワーク推進事業

【R1：1,160千円】

見守り協定事業者が高齢者の異変に気付いたときに市役所へ連絡を入れるシステムである「高齢者見守りネット」を強化するため、協定事業者を増やす。<社会福祉課>



赤穂市高齢者見守りネット徘徊模擬訓練

## 基本的方向2 地域連携による経済・生活圏域の形成

## 地域連携による経済・生活圏域の形成

### 播磨圏域連携中枢都市圏の形成

#### ○ 健康増進事業 【R1：13千円】 （女性がん検診受診率向上啓発）

女性がん検診受診率向上のため、受診啓発推進月間におけるイベント、ピンクリボンライトアップ等の活動を推進。<保健センター>



赤穂城隅櫓のライトアップ

#### ○ 障害者総合支援法施行事務費

圏域の障害福祉制度の円滑な実施、運営等について連携及び調整を行い、障害福祉サービスの質の向上を図る。<社会福祉課>

#### ○ スポーツ先進都市推進事業

【R1：728千円】

スポーツ振興に伴う住民交流のため、小学校・中学校・高等学校の野球親善試合、ウォーキング、トレッキングイベント等を開催。<スポーツ推進課>

○ 住宅用太陽エネルギー利用機器  
設置補助事業

住宅用太陽エネルギー利用機器の設置に係る経費の一部を補助することにより低炭素社会づくりの推進を図る。〈環境課〉

○ 環境基本計画推進事業  
(緑のカーテンコンテスト)  
【R1：22千円】

地球温暖化等の対策として、屋内を涼くさせるツル植物の繁茂をカーテンに見立てた取組促進のためのコンテストの開催に協力。〈環境課〉

○ JR赤穂線沿線地域活性化連絡会議  
負担金 【R1：500千円】

J R 赤穂線沿線のツーリズム資源の再発見と広域連携を深め、地域の集客力強化と活性化を推進。〈産業観光課〉

○ 職員研修事業  
【R1：464千円】

播磨自治研修協議会を通じて、関係市町の職員の資質及び公務能力の向上を図ることを目的に、関係市町職員に対する研修事業を共同で推進。〈人事課〉

○ 市内循環バス運行事業 再掲  
〈企画広報課〉



市内循環バス「ゆらのすけ」

○ 赤穂国際音楽祭開催事業  
【R1：14,000千円】

赤穂国際音楽祭の開催により、文化芸術活動の推進を図る。〈企画広報課〉



ル・ボン国際音楽祭  
赤穂・姫路

○ 地域文化財調査事業  
(郷土資料アーカイブス)  
【R1：350千円】

姫路城内図書館を主管とする播磨郷土資料デジタルアーカイブス事業に参画し、所蔵資料のデジタル化と公開を推進する。〈文化財担当〉

○ 定住支援推進事業  
【R1：24千円】

大都市圏での各種PR・相談会を通じて、UIJターン希望者への情報提供を行う。〈市民対話課〉

- 赤穂ブランド推進事業 再掲
  - 農村地域活性化推進事業 再掲
  - 観光アクションプログラム推進事業 再掲
  - 観光客おもてなし事業 再掲
  - 義士祭奉賛会補助金 再掲
- 〈産業観光課〉

## 東備西播定住自立圏の形成

### ○ 定住自立圏構想推進経費

【R1：5,100千円】

定住自立圏（備前市、上郡町及び赤穂市）形成協定及び共生ビジョンによる圏域事業により、圏域の生活機能やネットワーク等の強化を図る。＜企画広報課＞



東備西播定住自立圏圏域バス「ていじゅうろう」

## 関西福祉大学との連携

### ○ 高等教育機関連携推進事業

【R1：200千円】

学生が主体となって課題解決に向けて地域に参画する事業（軽トラ朝市参加による地域アピール、ベビービクスの提供等）に対して助成を行うとともに、人的連携、情報連携等を実施。＜企画広報課＞



ベビービクス開催の様子

## 基本的方向3 防災・減災対策の推進

### 防災・減災対策の推進

#### ○ 防災行政無線整備事業

#### ○ 防災行政無線運営経費

【R1：6,597千円】

気象警報及び土砂災害警戒情報などの気象情報や、災害時における避難勧告、避難指示情報を多くの住民に、迅速かつ的確に伝達し、被害を最小限にとどめるため、市内98カ所の屋外拡声子局を配する防災行政無線を整備。

平常時には行政放送も行う。

＜危機管理担当＞



#### ○ ひょうご防災ネットシステム

運営経費 【R1：1,450千円】

携帯電話のメール機能やホームページ機能を利用して、災害発生時等の緊急時に、緊急気象情報や避難情報等をいち早く市民に発信。＜危機管理担当＞

#### ○ 気象観測システム運営経費

【R1：914千円】

市民が直接赤穂市内の気象状況を確認でき、避難準備や早期避難等、判断材料の一つの手段になるよう、赤穂市内の気象情報をリアルタイムで公表。＜危機管理担当＞

## 避難所等防災施設の充実強化

### ○ 防災備蓄倉庫整備事業

【R1：3,200千円】

### ○ 都市公園事業<防災備蓄倉庫整備>

避難所の機能向上を図るため、備蓄倉庫を整備。避難所の数や位置を考慮しつつ物資の分散備蓄に努め、備蓄物資は定期的に点検し、必要に応じて更新。<危機管理担当>

また、野中・砂子土地区画整理事業実施地区内の近隣公園の整備にあわせ、トイレと一体になった備蓄倉庫を設置。<都市整備課>

### ○ 避難所等防災施設整備事業

避難所である市内各小学校にトイレ用水確保のための防災井戸を設置。<危機管理担当>

### ○ 西播磨広域防災備蓄物資整備事業

【R1：900千円】

大規模地震災害に備え物資の直接備蓄を図る。なお、赤穂市も参画する播磨地域広域防災連携協定において、緊急時には相互補完する体制が整備されている。

<危機管理担当>



防災井戸

## 消防施設の充実強化

### ○ 耐震性防火水槽整備事業 【R1：32,000千円】

大規模地震等により水道施設が破損した場合等に、消防水利を確保するため、市街地の公園等に耐震性防火水槽を整備する。また、震災等大規模災害発生時には、生活用水としても使用可能。<消防本部>

## 基本的方向4 既存ストックのマネジメント強化

## 空き家対策

### ○ 定住支援推進事業

(空き家情報バンク)

空き家の売買又は賃貸を希望する所有者が宅地建物取引業者への物件情報の登録を通して、ホームページにより赤穂市内に居住することを希望する人に登録情報をお知らせ。

<市民対話課>

### ○ 定住支援推進事業 【R1：36千円】

(定住支援金)

新婚世帯助成資格要件該当者が空き家情報バンク掲載物件の賃貸契約をした場合、家賃助成に加算を行う。<市民対話課>

### ○ 空き店舗利活用

中心市街地における空き店舗情報をデータベース化。民間団体、イベント業者などの利用者へ情報提供し、所有者との仲介役として支援。(事業化調整中) <産業観光課>

### ○ 空家等対策計画の策定等

市内全域の空家実態調査及び空家管理システムの整備を行い、その結果を踏まえ、「空家等対策計画」を策定。危険な空き家等に対処するだけでなく、空家化の予防、流通・活用の促進等、総合的な空家等対策に取り組む。

<都市整備課>

### ○ 空家活用支援事業 【R1：8,580千円】

(リフォーム助成)

空き家を住宅、事業所又は地域交流拠点として活用する方等へ改修費等の支援を実施。

<都市整備課>

## 基本的方向5 地域ブランド力の推進

### 地域ブランド力の推進

#### ○ 義士親善友好都市交流事業

【R1：1,945千円】

義士親善友好都市交流会議（忠臣蔵サミット）の開催、参加。全国の「赤穂義士ゆかりの地」である自治体が、情報を交換し、地域の発展のために相互協力していくために、平成元年に創立。参加団体共にNHK大河ドラマの誘致に取り組む。＜産業観光課＞



忠臣蔵サミット的一幕

#### ○ 義士祭奉賛会補助金

【R1：19,700千円】

赤穂義士祭の事業主体である赤穂義士祭奉賛会に対し義士祭の中心をなすパレード出演行事費に加え、忠臣蔵物産市、忠臣蔵ウィーク、前夜祭や観覧席設置にかかる経費を補助。＜産業観光課＞

#### ○ 地域文化財調査事業

【R1：150千円】

令和元年度の日本遺産に認定された赤穂の塩に関する歴史文化だけでなく、赤穂市歴史文化基本構想に沿って、市内の歴史文化遺産のブランド化を図るための調査研究を行う。＜文化財担当＞

#### ○ 旧赤穂上水道完成400年記念プロジェクト

- ・赤穂市立歴史博物館において旧赤穂上水道特集展開催。＜生涯学習課＞
- ・赤穂市文化会館において歴史研究講座開催。＜生涯学習課＞
- ・有年考古館において赤穂市内出土のほか、福山市の福山城跡出土資料等を展示する特別展を開催。＜文化財担当＞
- ・有年公民館において特別展開催記念として3回連続の講演会を開催。＜文化財担当＞
- ・旧赤穂上水道にかかる顕彰映像ソフト制作。＜文化財担当＞
- ・旧赤穂上水道の説明板設置。＜文化財担当＞
- ・記念ノベルティ（クリアファイル）、広報チラシの作成＜産業観光課＞ 再掲
- ・ガイド付きのウォーキングイベントを実施。＜産業観光課、スポーツ推進課＞ 再掲
- ・神田、福山、赤穂の学識経験者を招聘し、記念シンポジウムを開催。＜上下水道部総務課＞ 再掲